

鳥見地域学校規模適正化 推進協議会ニュース【第2号】

第2回学校規模適正化推進協議会を平成20年
12月11日(木)に開催いたしました。

(1) 適正化実施計画案の確認
第1回学校規模適正化推進協議会で提示した鳥見幼稚園を鳥見小学校内に併設する場所の適正化実施計画案(右図参照)を確認しました。

(2) 作業部会及び小学校施設見学会の様子報告
11月20日に推進協議会会長・副会長等が集まり作業部会を開き、第2回学校規模適正化推進協議会で提示する幼小PTAの意見・要望等をまとめた様子や12月1日に幼稚園PTAが小学校施設を見学した様子等について報告しました。

(3) 適正化実施計画案に対しての幼稚園及び小学校PTAの意見・要望等
作業部会において提出された幼稚園及び小学校PTAの適正化実施計画案に対する多くの意見・要望等について、第2回推進協議会において幼小PTA代表者から報告がありました。その要点については下記のとおりです。

◆鳥見幼稚園PTAの意見・要望等について

- ・実施計画案の併設場所(蜂の巣校舎1階3室)については、部屋が暗く、2階にステップルームがあるため、音に敏感なステップの児童に迷惑がかかるのではないかと。また、保育室3室では少ないのではないかと。(参考：現在2学級)
- ・実施計画案の園庭の場所については、日当たりが悪いのではないかと。
- ・小学校内に幼稚園園舎の新築、又は南校舎を保育室に改修することを希望する。

◆鳥見小学校PTAの意見・要望等について

- ・幼稚園を小学校内に併設せず、今の場所に存続する方法は考えられないのか。
- ・併設を実施し、園児と児童が同じ施設を使用するのは動線が重なり危険である。
- ・園児数の減少や防犯上のことを考えると幼小の併設も仕方がなく、併設によって異年齢の交流が増えるのは良いことだと思う。

(4) 地域からの意見・要望等について

- ・鳥見地域の推進協議会として、今後、学校規模適正化を「併設」で検討するのか、「統合再編」で検討するのか、明確にしていく必要がある。
- ・併設場所については、保護者等からもいろいろな案が出ているが、どの案にも多くの課題があり、併設計画を推進するには話し合いが必要である。

(5) 教育委員会の基本的な考え方等について

少子化や保護者ニーズの多様化によって、多くの幼稚園において小規模化が進んでおり、集団活動等を通してより良い教育環境を整備しようと学校規模適正化を計画しています。そこで、鳥見幼稚園については、統合再編を実施することで教育環境を整備するよりも、鳥見小学校内に併設し、地域に幼稚園を残して「幼小連携教育」を強化したいと考えています。

しかし、併設場所については様々な課題を抱えているため、今後、作業部会等を開き、第3回推進協議会開催に向けて、幼小教員やPTA等とも話し合いを続けていくことにしています。

教育企画課 2月

